

協定企業名	三愛石油株式会社
交流行事名	「三愛石油オブリの森」体験型環境研修
開催日時	平成 26 年 10 月 19 日（日） 9：15～16：30
開催場所	「三愛石油 オブリの森」（本山町本山南山 町有林）ほか
主な参加者・人数	三愛石油(株)社員の皆さん（29名） 汗見川活性化委員会（1名）本山町（13名）、高知県（6名） 総勢49名
概要	間伐体験、食事交流会、稲刈り体験、ぼうむ合同会社見学
当日の様子	<p>昨年の雨とは打って変わって、晴天に恵まれた今年の「三愛石油オブリの森」体験型環境研修には、西は大分県から東は福島県まで、全国から総勢29名の三愛石油社員の皆様が参加してくれました。</p> <p>本山町プラチナセンターで開会式を行い、いざ間伐へ。</p> <p>間伐地までは徒歩で20分程度、森林浴をしながら山を登ります。</p>   <p>間伐作業は3班に分かれ、汗見川活性化委員会の皆さんの指導のもとに行われました。ピンクのテープが巻かれた木を間伐していきます。まず、その木をどちらに倒すか周りの木の様子や、枝の付き方、木の重心を見定め、方向を決めます。</p> <p>倒す方向が決まれば、受け口、追い口作りです。金田社長も自ら率先してノコギリを引きます。その後、社員の皆さんで交代しながら木にノコギリを入れていきます。</p> <p>力もコツも必要で、意外と大変な作業ですが、木が倒れた時には清々しい気分になります。倒した木を、チェーンソーを使って輪切りにする体験もしました。</p>    

間伐後はお楽しみの昼食会。汗見川生活改善グループの皆さん手作りのシカ肉コロッケや、手打ちそば、ちらし寿しに揚げたてのてんぷらなど、お皿に乗りきれないほどの種類の郷土料理に舌づつみを打ち、午後の活動への活力に。



午後からは稲刈り体験です。

黄金に輝く稲を横一列に並んで刈っていきます。初めは慣れない姿勢と鎌に苦戦していましたが、慣れてくれば早いもの。1時間ほどで全ての稲を刈り終わりました。刈った稲は乾燥した藁を使って束ね、稲束をつくります。稲束は「はでかけ」に掛け、昔ながらの天日干しに。機械で乾燥させるよりも美味しくなるようです。

日中は気温も上がり汗を拭いながらの作業となりましたが、太陽の恵みをたっぷり受けたおいしいお米になることを願い、稲刈り体験は終了しました。



最後は、本山町にある「ぼうむ合同会社」の施設内の見学をしました。嶺北杉をレーザーで切りぬきレースのような模様にしたもくレース製品はお土産にもぴったりと、皆さん購入されました。木を切って、木を使い、また新しい木を育てていく。この循環がうまくいく事が山にとって重要です。

皆さん、今日は一日本当にお疲れ様でした。

